

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム 第4回シンポジウム

〈次第〉

1. あいさつ

2. 分科会検討事業テーマについて

(1) 「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む分科会」

(a) 水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた検討部会

(b) 次世代につなぐ大宮公園検討部会

(c) 里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

(d) プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会

(2) 「フードロス削減分科会」

3. 埼玉県からのお知らせ

(1) パートナー登録のメリットと埼玉版SDGs推進アプリ「S³（エスキューブ）」について

(2) ふるさと創造資金SDGsメニューについて



SDGs 未来都市

埼玉県

○ 水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた検討部会

<事務局>

埼玉県 県土整備部 河川環境課

<設置目的>

水辺の保全と経済活動の両立のため、企業・団体等の持続可能な官民連携協働スキームの構築を目的とする



<これまでの取組状況>

- ①入間川（飯能河原）、高麗川（巾着田周辺）、新河岸川（寺尾調節地）において、フィールドワークを実施しながら、地域振興や利活用・教育・環境保全の提案
- ②生命保険会社がユニバーサルデザインヨットの普及を進めるNPOに対し、車いす利用者のヨット乗降用リフトを寄贈
- ③生涯学習を推進するNPOと釣り餌メーカーが連携して、筏づくり と はじめての川釣り リバービーチキャンパスを開催



SDGs 未来都市

埼玉県

○ 水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた検討部会

<今後解決したい課題や実施したい内容>

- 令和3年度のプロジェクト箇所の事業化や新たなフィールドの展開
- 利活用の視点に新たに水質改善や環境保全を考えるプロジェクト箇所を設定
- 横瀬川（横瀬町）、大相模調節池（越谷市）
環境に配慮し整備した調節池

<特に連携していきたい業種>

学術研究、専門・技術サービス業、
教育、学習支援、市町村 等



SDGs 未来都市



埼玉県

○ 次世代につなぐ大宮公園検討部会

<事務局>

埼玉県 都市整備部 公園スタジアム課

<設置目的>

悪化した池の水質を改善、維持することで、多くの人々が愛着を感じ、多様な主体による公園運営を実践し、大宮公園の魅力向上させる



<これまでの取組状況>

①かいぼり実施の検討

- ・ 先進事例の調査（上尾丸山公園）
- ・ 氷川神社内（ほたるの会）講習会参加
- ・ 大宮アルディージャとの協力体制の確立

②貸しボート事業の検討

- ・ さいたま市観光国際協会との調整



SDGs 未来都市

埼玉県

○ 次世代につなぐ大宮公園検討部会

<今後解決したい課題や実施したい内容>

- かいぼりプレイバントの実施
- ボランティアの募集・育成
- 多様な主体による、大宮公園修景池でのかいぼり実施
- 池底を活用したイベントの実施（池の水を抜いている期間）
- 水質を維持するための具体策についての意見交換
- 多様な主体が参加する公園運営についての意見交換

<特に連携していきたい業種>

学術研究、専門・技術サービス業、
教育、学習支援、
団体・NPO、市町村 等



将来イメージ(大宮公園ランドデザイン)



SDGs 未来都市



埼玉県

○ 里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<事務局>

埼玉県 環境部 みどり自然課

<設置目的>

○プラットフォームづくり

- ・里山や平地林を基軸に、地域の様々な関係者を結びつけ、新たな価値を創出するための基盤をつくる。

○取組の実践

- ・里山や平地林の持つポテンシャルを有効に活用し、健康や観光、教育等の分野と連携して様々なサービスを提供するなど、ビジネスの視点も取り入れた持続可能な保全・活用を進める。

<これまでの取組状況>

○放置された里山平地林の活用（意見・アイデア）

- ・香木の植樹（伐採後）
- ・薪割り体験・レクリエーションの場
- ・自然環境保全と観光を組み合わせた「ワーキングホリデー」



第22回さいたま緑のトラスト写真・動画コンクール
優秀賞「森の窓口」

○ 里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<今後解決したい課題や実施したい内容>

○課題

- ・ 緑の管理や活動に「楽しさ」を共有できるような取組・アイデアが不足
- ・ (特に、都市部の樹林地(平地林)の持続的な保全・活用)

○実施内容

- ・ 意見交換、フィールド調査等を行う場や機会の創出
- ・ 地域ニーズを踏まえたアイデアをモデル的に実施

<連携していきたい業種>

地域振興に関心のある企業・団体(サービス業、教育、福祉・医療、団体・NPO、市町村 等)

<実施イメージ>



SDGs 未来都市



埼玉県

○ プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会

<事務局>

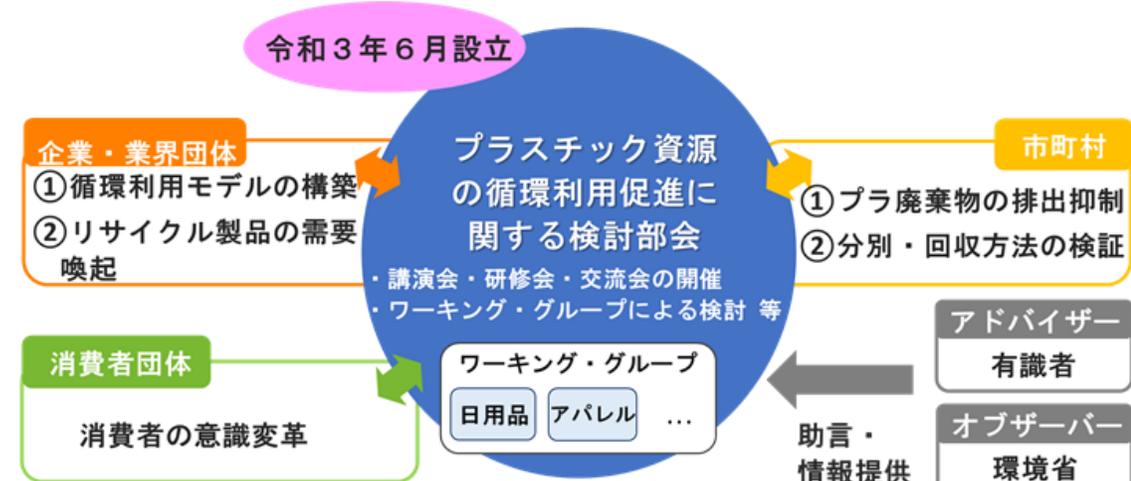
埼玉県 環境部 資源循環推進課

<設置目的>

プラスチック廃棄物の排出抑制と
プラスチック資源の循環利用促進

<これまでの取組状況>

- ①市町村の分別収集支援（分別・回収方法の検証）
県内市町村の協力のもと、家庭ごみの現況調査や効率的な回収方法の検証を実施
- ②ライフスタイルの変革（若者への意識啓発）
小売業者、リサイクル業者、製造業者、行政が連携し、衣類の回収キャンペーンを実施
- ③新たな循環利用モデルの構築に向けた実証実験
小売業者の協力を得て、ホームセンター等で多く販売される製品の店頭回収を実施



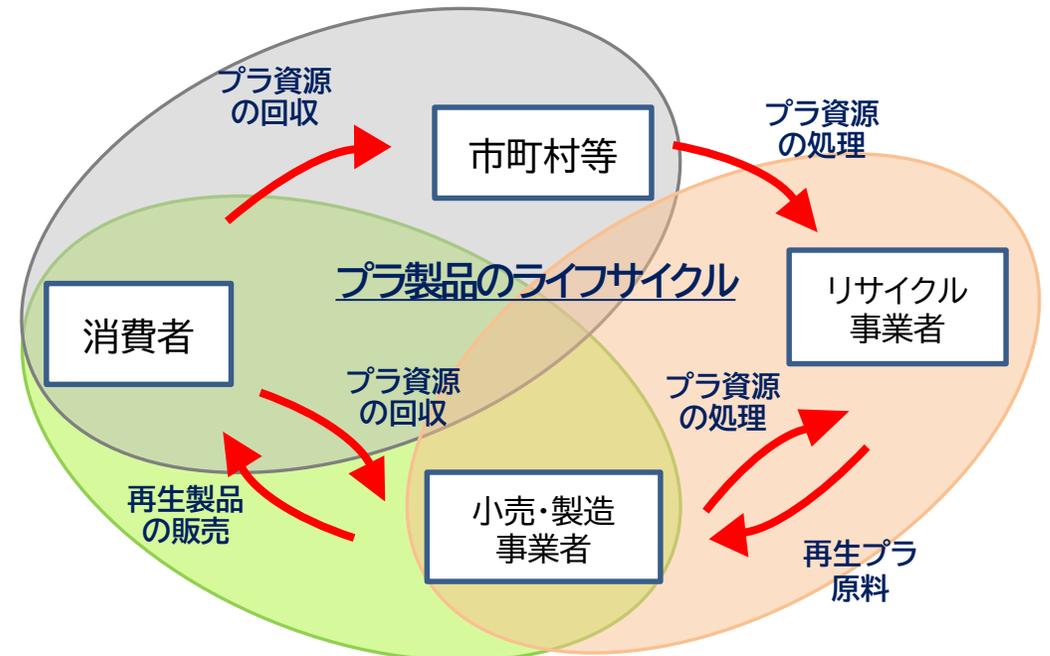
○ プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会

<今後解決したい課題や実施したい内容>

- 家庭ごみのうち、素材としてリサイクルできる品目の調査を行い、分別回収を検証することで成果や課題等を整理し、回収モデルを発信
- 会員によるアライアンス（ワーキング・グループ）により、商品化に向けた課題を解決し、循環利用モデルを構築
- 会員と連携し、リサイクルへの機運醸成と需要喚起を促進

<連携していきたい企業・団体等>

小売・製造事業者、リサイクル事業者、市町村 等



「フードロス削減分科会」～フードロス削減検討部会～

<事務局>

味の素株式会社（提案主体）

<設置目的・目標>

埼玉県内の企業・団体と共に「食の有効活用」を推進することで、フードロスの削減を目指すこと。

<これまでの取組状況>（味の素(株)単独）

量販店にてフードロス削減レシピ及び食材の有効活用方法発信

- ・「金曜日はクリーンフライデー」
- ・「日曜日は食べつくスープ！」

<今後実施したい内容>

- ・様々なチャネルを通じて、食材の有効活用方法を発信すること。
- ・様々なチャネルを通じて県民にSDGs取組の体験を提供し促進すること。
- ・埼玉県内農家で発生する廃棄農作物を有効活用できる仕組みを作ること。
- ・製造段階で発生する不可食分を有効活用できる仕組みを検討する。

<特に連携していきたい業種>

生産、製造者、外食企業、小売業、企業、団体、法人



フードロス削減の促進

活動案

- ① 短期：食材の有効活用方法、フードロス削減取組の促進
- ② 中長期：フードロス削減に向けた仕組み作り

▼ 食材の有効活用方法、フードロス削減取組の促進（イメージ）

	2022	2023	2024	2025
生産				
製造・流通	22年8月始動 レシピ・商品・知見の提供	SDGs取組み体験コンテンツの作成・提供		
外食・小売業	食材有効活用方法の発信	フードロス削減レシピ・メニューの提供		
県庁		情報発信（エスキューブ、埼玉県SNSなど）		
		官民連携プラットフォームの提供		
行政・団体・法人		フードロス削減取組（SDGs取組み）イベントの開催		

左記活動を踏まえてアップデート

活動案

- ① 短期：食材の有効活用方法、フードロス削減取組の促進
- ② 中長期：フードロス削減に向けた仕組み作り

▼ フードロス削減に向けた仕組み作り（イメージ）

	2022	2023	2024	2025
生産		<u>23年度始動目標</u>	廃棄農作物の提供・活用	
製造・流通		商品・知見の提供	廃棄農作物を活用したメニュー開発	製造工程における未活用食材（野菜の皮など）の活用
			規格外品活用メニュー提供	規格外品活用方法発信
県庁		情報発信（エスキューブ、埼玉県SNSなど）	官民連携プラットフォームの提供	企業・団体の繋がり
行政・団体・法人			廃棄物の活用	食品残渣のリサイクル（飼料・堆肥）
				フードバンク・子ども食堂への寄付

1 貧困をなくそう



3 すべての人に健康と福祉を



5 ジェンダー平等を実現しよう



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



2 飢餓をゼロに



4 質の高い教育をみんなに



6 安全な水とトイレを世界中に



8 働きがいも経済成長も



17 パートナーシップで目標を達成しよう



埼玉県からのお知らせ

10 人や国の不平等をなくそう



15 陸の豊かさも守ろう



2022. 7. 6

埼玉県企画財政部計画調整課
総括・SDGs推進担当

12 つくる責任
つかう責任



16 平和と公正をすべての人に



14 海の豊かさを守ろう



13 気候変動に具体的な対策を



11 住み続けられるまちづくりを



埼玉版SDGsの推進

県民や企業、NPO、大学、金融機関、各種団体など多様なステークホルダーとの協働を通じ、ワンチーム埼玉でSDGsを推進しています。

企業・団体等

取組へのサポートを充実

理解促進

企業・団体等のSDGs活動の進め方に関するセミナーの開催等

取組支援

企業・団体等の「環境・社会・経済」の三側面の取組支援

登録

自らSDGsに取り組む企業・団体等を登録する
埼玉県SDGsパートナー登録制度



埼玉県
ONE TEAM SAITAMA
SDGsパートナー

登録者数:636者
(R4.3月末)

県民レベルの参加促進

アプリによる普及・参加促進



※DL数3,380(R4.3月末)

学校・イベント等による意識醸成

県民



埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム

- ・官民連携の促進
- ・シンポジウム等の開催
- ・分科会による検討

連携して全県展開

先進的SDGs事業への支援

市町村

部局横断で推進

埼玉県SDGs庁内推進本部での展開
全施策を貫く横断的な視点として反映(次期5か年計画)

埼玉県



SDGs未来都市
埼玉県

「埼玉県SDGsパートナー」登録制度

- SDGsに自ら取り組むとともに、県と連携してSDGsを普及する企業・団体等を『埼玉県SDGsパートナー』として登録する制度を令和2年11月に創設
- 登録要件は、県内に事業所を有する企業・団体等で要件①②をクリアすること

要件①

■ 3側面について重点的な取組及び指標を設定し宣言すること

SDGs達成に向けた企業・団体等の取組方針を宣言し、「**環境・社会・経済**」の三側面について重点的な取組及び指標を設定

要件②

■ SDGs達成に向けた基本的な取組を行うこと

持続可能な活動のために基本的に取り組むべき6分野※について、企業・団体等が取り組むことを記載

※①人権・労働、②環境、③公正な事業慣行、
④製品・サービス、⑤社会貢献・地域貢献、⑥組織体制

第1～第5期で **636者** を登録 (R4.3月末現在)

「埼玉県SDGsパートナー」登録制度

■登録企業・団体等のメリット

- パートナー登録証（図.1）の付与
- 専用のロゴマーク（図.2）を使用可能



図.1 パートナー登録証



図.2 パートナーロゴ(タテ、ヨコ)

- 県ホームページ等でSDGsの取組をPR
- 大野知事からの激励動画（図.3）を送付



- 県制度融資における優遇
- 埼玉版SDGs推進アプリ『S³』にイベント情報やPR動画を掲載可能（図.3）



図.3 大野知事の激励動画

図.3 『S³』でのPR

埼玉版ESG金融

SDGsに取り組む企業を金融面からも官民連携で支援



ESG目標設定特約付融資「Try Now」

(令和3年10月1日取扱開始)

「埼玉県SDGsパートナー」登録制度及び登録維持をESG目標の一つとしており、目標達成により金利を優遇



「むさしのサステナビリティ・リンク・ローン」

(令和3年9月30日取扱開始)

挑戦目標(SPTs)の設定にSDGsの達成に資する県の制度目標等を積極的に活用し、目標達成と金利の引下げ等の融資条件を連動

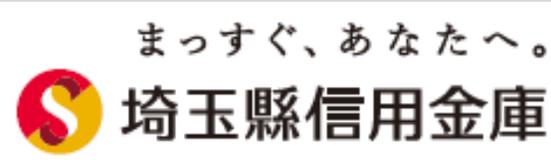


彩の国4信用金庫合同企画

「チャレンジSDGs」

(令和4年3月1日取扱開始)

県内4信用金庫が「埼玉県SDGsパートナー」制度に登録をした方、登録申請をした方を対象に金利を優遇



SDGsパートナー企業応援宣言



SDGsサポートローン【GOALS】



埼玉版SDGs推進融資【パートナー】



SDGs応援ローン



SDGs未来都市

埼玉県

埼玉版SDGs推進アプリ「S³（エスキューブ）」

令和3年
11月1日
リリース

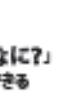
動画やテキスト・クイズなどで
SDGsを
楽しく理解できるアプリ

4,425ダウンロード
(令和4年6月末時点)

SDGsを学んで感じてポイントGET
埼玉県公式スマートフォンアプリ「S³」












エスキューブ
SDGs Saitama Style

「最近よく耳にするけれど、そもそもSDGsってなに？」
その疑問を動画や文章・クイズで楽しく理解できる
埼玉県公式スマートフォンアプリです。

利用料無料

SDGsの取り組みでポイントが貯まります。
貯めたポイントでくじに参加できます。
(埼玉県内在住・在勤・在学のいずれかにおてはまる方が当選対象となります。)

アプリをインストールし
初期登録

ポイントを貯める

貯めたポイントで
くじに
チャレンジ

WACNポイント500円相当や
観光サービスを受けられる
特別カードが当たる
(抽選あり・抽選回数あり)

iPhone
App Store

Android
Google Play

SDGsクイズ

イベント参加

詳しくは動画でチェック

1 SDGsを学ぶ
動画やテキストで、SDGsの
ことを手軽に学ぶことが
できます。

2 埼玉県の風景
県内の名所や観光スポットの
写真を表示します。

3 ポイント
SDGsの取り組みのセルフ
チェックなどで、ポイントが
ゲット。貯めたポイントで、
くじに参加できます。

4 まいたま
埼玉県公式スマートフォンアプリ
「ポケットブックまいたま」
にアクセスできます。

5 最新のお知らせ
県庁から最新のお知らせが
表示されます。

6 イベント
SDGsイベントに参加して
ポイントがゲット。

048-830-2133 MAIL a2130-06@pref.saitama.lg.jp

0570-077-122 平日9:00~18:00(本庁取次室)

埼玉県 エスキューブ

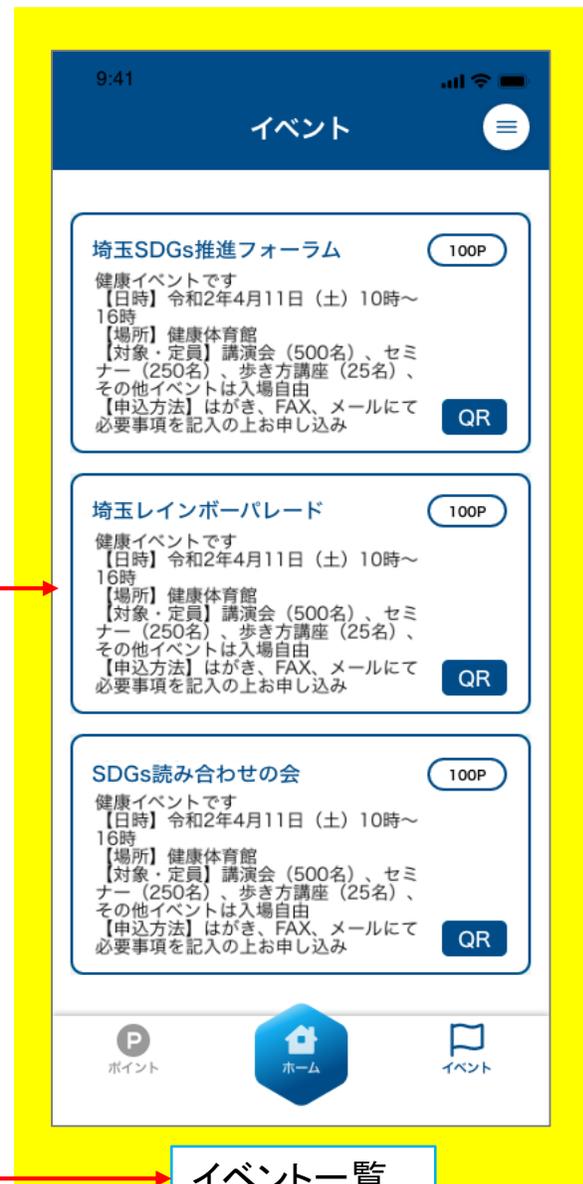
詳しい情報はHPへ <https://saitama.toqtsun.jp>

埼玉版SDGs推進アプリ「S³（エスキューブ）」

■SDGsに資するイベントを登録



and



埼玉版SDGs推進アプリ「S³（エスキューブ）」

< 令和4年度のイベント登録申請(抜粋) >

イベント名	申請者	イベント開催期間
SDGsパネル展 in M's SQUARE	武蔵野銀行・埼玉県	令和4年5月3日～10日
吉見町地球温暖化防止パネル展2022	吉見町 環境課	令和4年5月28日～6月12日
エコライフDAY・WEEK埼玉2022(夏)	埼玉県 環境部温暖化対策課	令和4年6月1日～9月30日
衣料品回収“幸服リレー”	県内各イオンモール	令和4年6月18日～6月28日
とめきちお掃除隊	ナックプランニング	令和4年7月10日
木製SDGsバッジを作ろう	学研スタディエ	令和4年7月22日
子ども向け金融経済教育 「りそな・みらいキッズマネーアカデミー2022」	埼玉りそな銀行	令和4年7月26日～8月24日

埼玉版SDGs推進アプリ「S³（エスキューブ）」

6月下旬に県内の各イオンモールで実施した衣料品回収イベント“幸服リレー”の様子



SDGs 未来都市
埼玉県

期間中100名を超える方がアプリをきっかけに参加！

埼玉版SDGs推進アプリ「S³（エスキューブ）」

埼玉版SDGs推進アプリ『S³』新規ダウンロードキャンペーン

埼玉版SDGs推進アプリ『S³』

エスキューブ
SDGs Saitama Style

「最近よく耳にするけれど、そもそもSDGsってなに？」
その疑問を動画や文章・クイズで楽しく理解できる
埼玉県公式スマートフォンアプリです。

**新規ダウンロード
キャンペーン！**

抽選で
100名様 **プレゼント**

埼玉版SDGsロゴマーク入り
エコバッグ

応募期間
7/1(金)～7/31(金)

※既にダウンロードしていただいている方も当選対象です。
※当選は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

①インストールはコチラ

iPhone版

Android版

② ③ ④

当選対象
埼玉県内在住・在勤・在学のいずれかの方

応募方法

- まずはアプリをインストールして初期登録
- ホーム画面左下の「ポイント」をタップ
- 右上の「ポイント利用」をタップ
- 「抽選応募」のタブをタップ
- 必要情報をご入力のお申込みください

彩の国 埼玉県

埼玉県企画財政部 計画課 総務・SDGs推進担当
☎ 048-830-2133 ✉ a2130-06@pref.saitama.lg.jp

①SDGsを学ぶ

動画やテキストで、SDGsのことを手軽に学ぶことができます。

②埼玉県の風景

県内のもので観光スポットの写真を表示します。

③ポイント

SDGsの取り組みのセルフチェックなどで、ポイントセグット。貯めたポイントで、くじに参加できます。

④まいた家

埼玉県公式スマートフォンアプリ「ポケットブックまいた家」にアクセスできます。

⑤最新のお知らせ

県庁からの最新のお知らせが表示されます。

⑥イベント

SDGsイベントに参加してポイントセグット。

●事務局 観光庁のご不研係は、埼玉県観光情報SDGs推進担当へお問い合わせください。
☎ 048-830-2133 MAIL a2130-06@pref.saitama.lg.jp

●アプリ操作方法のご不研係は、下記コールセンターへお問い合わせください。
☎ 057-0-077-122 (平日9:00～18:00 (お盆休み除く))
※お問い合わせは「エスキューブアプリ」に非対応です。お問い合わせの際は、お問い合わせ先にご確認ください。

埼玉県 エスキューブ

詳しい情報はHPへ <https://saitama.toqtsun.jp>

団体内外への周知に御協力ください！！





ふるさと創造資金の紹介

埼玉県企画財政部地域政策課



主体・独創・計画的な事業への補助金

市町村の取組を支援するため、平成16年度に創設した埼玉県独自の補助制度。

①市町村提案・実践型事業

市町村が独自の課題の解決のために地域資源を活用して行う事業

②県政策連動型事業

県が進める政策に沿って市町村が進める事業

- ・住むなら埼玉移住促進事業
- ・県重点政策連動事業

- (1) 埼玉版SDGs推進事業
- (2) 高齢者の健康と活躍・少子化対策
- (3) 共生社会の実現
- (4) 水辺deベンチャーチャレンジ

支

援メニューの抜粋



SDGs 未来都市

埼玉県

分類	内容	補助率
①市町村提案・実施型事業		
魅力ある地域づくり事業	地域資源や強みを活かした地域づくり事業	1/2(*) 市町村連携・官民連携は2/3(*2)
コミュニティ活動推進事業	コミュニティ活動の拠点となる施設の整備事業	1/2(*)
②県政策連動型事業		
住むなら埼玉移住促進事業	移住を促進するための拠点の整備、サテライトオフィスやコワーキングスペースを整備し、地域振興の担い手を確保するための取組など	2/3～3/4(*3)
県重点政策連動事業	5か年計画に基づく主要政策の推進に資する事業 ・埼玉版SDGs推進事業 ・高齢者の健康と活躍・少子化対策 ・共生社会の実現 ・水辺deベンチャーチャレンジ事業	ソフト2/3(*4) ハード1/2(*4)

(*)普通交付税不交付団体は1/3 (*2)普通交付税不交付団体は1/2

(*3)前年度における財政力指数(前年度を含む過去3か年の平均)が町村の単純平均の市町村は3/4 (*4)普通交付税不交付団体はソフト1/2、ハード1/3

S

SDGsの推進に活用



SDGs 未来都市

埼玉県

埼玉版SDGs推進事業

概要

市町村の地域づくりに加え、県の主要な計画等の推進(SDGsの推進)に資する事業で、交付の日の属する年度内に完了する、成果指標の設定及び成果検証を行うソフト事業及びハード事業

補助率

ソフト事業:2/3以内(ただし、前年度不交付団体は1/2以内)
ハード事業:1/2以内(ただし、前年度不交付団体は1/3以内)

補助限度額

1,000万円
(補助下限…市:100万円、町村:50万円)

活

用事例



SDGs 未来都市
埼玉県

春日部市(R3年度)

- 市民普及の講座、オンラインフォーラムを開催。子どもの貧困、気候変動など身近な問題を取り上げ、社会課題を考えたり話し合ったりする場を創出。
- SDGsの推進に取り組む企業・団体が、活動に関する発表や意見交換、情報発信できる場を作る。

かすかへSDGsフォーラム
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
地球はわたしたちみんなのhome
参加無料 要申込
3月20日 13:00~17:00
オンライン開催
春日部市 048-736-1111(内線2120)



久喜市(R3年度)

- SDGsに触れたことがない市民にもわかりやすく、親近感を得られるような講話を実施。
- 小学生が授業で学んだSDGsについての成果発表。
- 市民協働で作成したSDGsマップを発表。
- 10年先を見据えた久喜市の未来をテーマとしたシンポジウムの開催。





三芳町(R3年度)

- 町内で活躍する企業や団体のSDGsへの取り組みを収集し、審査委員会を経て表彰する。
- 受賞者を紹介冊子や広報紙、各種イベントで紹介することで、企業・団体の取組やSDGsの認知度を向上させる。
- 受賞者の表彰式に併せてシンポジウムを開催。



三芳町(R4年度予定)

- 「みどりあふれ、環境と共生する豊かで持続可能なまちづくり」をSDGsの柱とし、「森を育む」「里を育む」「ひとを育む」の3つのテーマに沿って、市民研究員と政策アドバイザーとともに調査研究を行う。
- 未来のことを「自分ごと」として捉えられるように、自生活に結びついたSDGsに関する体験事業を行う。



みよしSDGs 宣言団体の紹介

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、17のゴール・169のターゲットから構成された国際目標です。地球上の誰一人取り残さない社会の実現するため、三芳町も目標に向かって取り組みを進めています。SDGsの目標達成のためには企業・団体の協力が不可欠であると考えています。そこで「みよしSDGs 宣言制度」を発足し、町内で活躍する企業・団体とのパートナーシップで目標達成に向けて取り組みます。三芳町と共にSDGsの目標を達成することを宣言していただいた企業・団体を紹介します。

みよしSDGs 宣言制度とは

令和3年7月三芳町で活躍する皆さまに、SDGsにおける目標を掲げ、取り組みを宣言いただく、SDGs宣言制度を発足しました。町全体の機運醸成を図り、一丸となって持続可能な未来を実現するため、宣言団体を募集しています。



企業・団体 × SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
MIYOSHI TOWN



みよしSDGs 宣言
随時募集中



採

択・要望



SDGs 未来都市

埼玉県

採択時期 4月・6月・9月の年3回

- ・市町村から地域振興センターに提出された要望を地域政策課が審査し、採択を決定。
- ・令和5年度4月採択の要望は、**12月**に地域振興センターから市町村に照会予定。

ふるさと創造資金のご相談については

管轄の地域振興センターまでご連絡ください。

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



17 パートナーシップで目標を達成しよう



御清聴ありがとうございました

※ 埼玉版SDGs、官民連携プラットフォーム、パートナー登録制度などの詳細については右QRコードまたは下記URLの県HPも御覧ください。



16 平和と公正をすべての人に



<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/sdgs/saitama-sdgs.html>

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



15 陸の豊かさを守ろう



14 海の豊かさを守ろう



13 気候変動に具体的な対策を



【お問い合わせ先】

担当：埼玉県 企画財政部 計画調整課

総括・SDGs推進担当

電話：048-830-2133

e-mail：a2130-06@pref.saitama.lg.jp

12 つくる責任 つかう責任



11 住み続けられるまちづくりを



10 人や国の不平等をなくそう

